

もつと踏み込んだ区独自の 経済支援策を望む



日本共産党
はら つとむ

問 先日、政府与党の追加経済対策が発表された。しかし、この経済対策には、国民の暮らしを本気で守ろうとする姿勢がない。いま日本が直面している経済危機は、小手先の対応だけで打開できるものではない。大企業応援の政治から、国民の暮らしを応援する政治に転換していく必要がある。区長は、この麻生内閣の経済対策をどう受け止め、また、定額給付金への対応をどうしようと考えているのか、見解を伺う。

答 区は先日、経営安定資金融資の実施を打ち出した。これは我が会派が、強く要望したものであり、信用保証料の補助など一定の評価はできるが、もつと踏み込んだ対策が必要である。都の「緊急対策Ⅱ」も積極的に活用し、生活者の支援に取り組むとともに、失業者対策、中小企業の経営危機打開のための支援策も講じるべき。また、学校給食の食材費等への補助を行うとともに、生活保護世帯や所得の低い世帯に「物価高騰緊急支援金」を創設するほか、シルバードパスの発行などに必要な課税証明書等の手数料も免除すべき。また、応急小口資金貸付金の増額や手続きの改善を望む。



答 景気の減速傾向が顕著であり、その影響も日増しに拡大する傾向にある。本区における来年度の歳入環境も極めて厳しいものと想定している。そうした中にあっても、まちづくりなどの基本計画事業の着実な推進、新タワー関連事業の推進、当面の緊急課題である学校を含めた公共施設の耐震化、保育園待機児童対策、更には地球温暖化防止や商工業振興対策などの諸課題に的確に対応していきたい。提出された予算要望については、その趣旨をしんしゃくし、可能な範囲で実施をしたい。



問 わが党は先日、区民アンケートや生活相談活動、各団体との懇談等で寄せられた切実な要望を、76項目にまとめ予算要望書として区長に提出した。その中で、「物価高騰対策」「区民の負担軽減」、また福祉・医療・教育・防災・住宅問題などを柱とした、「孤独死ゼロ対策」や「実態に見合った出産費用の助成」「多重債務者対策」「借上げ住宅の増設」などを求めている。これらの要望の実現を強く求めるとともに、区長が何に重点を置いて予算を組もうとしているのか、見解を伺う。

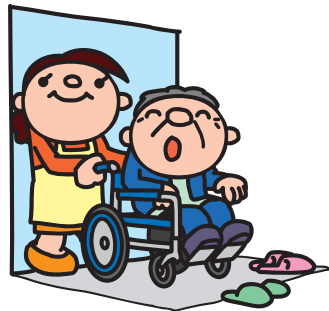
●来年度予算編成は、物価高騰対策や区民の負担軽減を

●介護保険第4期事業計画では保険料の引下げなどの負担軽減策を

問 区は現在、来年4月から介護保険第4期事業計画を策定中だが、介護保険制度については、各方面から深刻な問題が指摘されている。介護事業者は経営がぎりぎりであると切々と訴え、区独自の介護報酬上乗せや人件費の補助などを強く要望しており、区独自の対策を検討すべきと考える。また、区の特別養護老人ホームの待機者は614人にも及び、待機者解消には、もつと大幅な増設が必要である。これ以上、保険料の値上げをしないためにも介護給付費準備基金を取り崩すとともに一般財源を投入し、負担軽減に努めるべき。

答 現在、国において介護報酬の引上げが検討されており、その内容が21年1月に示されると聞いている。したがって、その内容と算定の前提となる施設サービスを含めたサービ

ス見込み量、国の追加経済対策のうち介護報酬引上げに伴う保険料抑制策の内容等も踏まえ、具体的な保険料額を決定したい。区独自の介護報酬上乗せは、制度の根幹にかかわるものであるため、慎重に対応したい。また、基金の取崩しを行い、可能な限り保険料の上昇を抑えたい。



問 地方自治は住民が主人公。上から押し付けるような道州制の導入には反対すべき。

答 国民的議論が行われた上で、導入の是非について判断が行われるべきと考える。

安心して出産できる周産期医療*体制等の充実に関する意見書(要旨)

脳内出血を起こして緊急搬送先を探していた妊婦が、8医療機関で相次いで受入れを断られたうえ、都立墨東病院が2度目の依頼で受け入れたものの、亡くなるという痛ましい事件が起きました。

都立墨東病院は救命救急センターに指定されていると同時に、母体と新生児の緊急受入れに対応する総合周産期母子医療センターでもあり、産科の医療機関が少ない23区東部の文字どおり命綱というべき都立病院です。しかし、産科医不足のため、母体の緊急受入れに対応できていないのが現状であり、妊産婦の安全・安心を図るために、産科医不足の解消など早急な対策が求められています。

国においては、全国の救命救急センターの体制を評価する新しい基準を来年度から導入するとしていますが、リスクの高い妊産婦や新生児などに高度な医療をもつて的確に対応できる「総合周産期母子医療センター」の体制を強化し、救急搬送システムの改善を図るなどの取組が求められています。

よって、墨田区議会は国会及び政府並びに東京都に対し、産科医、助産師の確保や、救急医療と周産期医療の連携強化に取り組むとともに、安心して出産できる環境を整備するよう強く要望いたします。

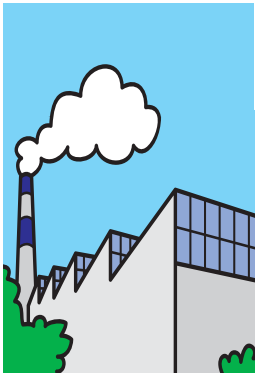
衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 厚生労働大臣
東京都知事 あて

産業都市委員会のもよう

【12月4日】

報告 緊急融資対策の実施について…最近の景況の悪化に対する区内企業への緊急融資対策として、融資実行時の負担軽減を図るため、中小企業信用保険法に基づくセーフティネット保証の認定を受けた事業者に対して、商工業融資の「経営安定資金」に係る信用保証料を期間限定で区が2分の1を補助する旨、報告があった。

報告 「新・墨田区工業振興マスタープラン(素案)」について…現在、策定を進めている「新・墨田区工業振興マスタープラン(素案)」の概要等について報告があった。



報告 耐震偽装マンションのその後の経過について…17年11月に発覚した耐震偽装マンションに対するこれまでの対応及び今後の予定について報告があった。

報告 墨田区景観計画(素案)及び墨田区景観条例(案)の概要について…現在、策定を進めている「墨田区景観基本計画」(素案)の目的、対象区域、景観まちづくりの基本方針等の概要及び「墨田区景観条例」(案)の目的、基本理念、区民・事業者・区の役割などについて報告があった。

報告 墨田区コミュニティ住宅使用申込者の資格要件の見直しについて…市街地再開発事業に伴う住宅困窮者対策を充実させ

ることにより、関係地権者との円滑な合意形成と事業の推進を図り、曳舟駅周辺地区全体の早期完成を目指すため、コミュニティ住宅使用申込者の資格要件を緩和する旨、報告があった。



報告 東武橋際公衆便所の一時撤去及び業平橋駅第一自転車駐車場の仮移転について…東京都水道局が実施する、老朽化した幹線水道管の改修に伴い、東武橋際公衆便所の一時撤去及び業平橋駅第一自転車駐車場を仮移転する旨、報告があった。



報告 「都市計画道路補助線街路第120号線の事業概要及び現況測量説明会開催のお知らせ」について…東京都第五建設事務所が、都市計画道路補助線街路第120号線のうち、東向島五丁目から八広五丁目の区間について、事業概要及び現況測量説明会を開催する旨、報告があった。

一般質問

11月27日の本会議では、
2人の議員が一般質問を行いました。

家庭の日に、地域のきずなが
深まる施策の推進を

民主党 青木 いさむ

すみだ家庭の日は、家族
や地域のきずなを深めて、
その浸透を図ることが趣旨であ
る。現状はきずなを深めること
ができず、次世代を担う中高校
生の地域行事への参加も少ない
家庭の日に、より地域のきずな
を深めるような施策を推進し、
また、毎月の目標を掲げて広く
浸透するよう望む。来年は、す
みだやさしいまち宣言から10周
年を迎えるにあたり、家庭の日
を一層前面に打ち出し、やさし
いまちづくりをより身近にする
ための施策の検討を求める。

家庭の日について、毎月
PR活動をしている。来
年度、すみだ家庭の日運動の目
的を浸透させ、若い人も進んで
地域に溶け込み、地域が自らき
ずなを深められるような雰囲気
づくりを醸成したい。また、
「やさしいまち宣言推進事業補
助」制度の見直しも行い、地域
のやさしいまち宣言の取組を支
援する。地域や家庭で触れ合うこ
とに着目したすみだやさしいまち
宣言の行動指針を増やし、区民
に一層浸透するよう努力する。

PR活動をしている。来
年度、すみだ家庭の日運動の目
的を浸透させ、若い人も進んで
地域に溶け込み、地域が自らき
ずなを深められるような雰囲気
づくりを醸成したい。また、
「やさしいまち宣言推進事業補
助」制度の見直しも行い、地域
のやさしいまち宣言の取組を支
援する。地域や家庭で触れ合うこ
とに着目したすみだやさしいまち
宣言の行動指針を増やし、区民
に一層浸透するよう努力する。

食育について問う

すみだ民主21 あそう あきこ

香川県の綾川町立瀧宮小
学校では、買物や調理を
親が一切手伝わらないなどのル
ールを決め「子どもが作る弁当
の日」を始めた。当初は保護者か
ら不安の声もあったが、地域の
協力もあり、子どもたちは料理
を通じ自信をもち、家族間では
会話が生まれた。墨田区におい
ても総合学習の時間などを通じ
て地域との連携も図りながら
「弁当の日」を設けてはいかが
か。北区立赤羽小学校では給食
の残りや調理ごみが堆肥として
群馬県の農家に供給され、再び
野菜等が作られ給食に用いられ
るリサイクル型給食システムを
学ぶ時間があるが、墨田区でも
このような取組をすべきだ。

本区では毎月25日を「す
みだ家庭の日」と定めそ
の活動の一つとして「みんな
で料理を作って食べよう」を掲げ
子どもたちが家庭で料理の手伝
いをするにより食への感謝
の心や食生活の知識、マナーを
学ぶ等の取組をしており、今後
とも家庭や学校、地域において
食育に取り組んでいきたい。

本区では毎月25日を「す
みだ家庭の日」と定めそ
の活動の一つとして「みんな
で料理を作って食べよう」を掲げ
子どもたちが家庭で料理の手伝
いをするにより食への感謝
の心や食生活の知識、マナーを
学ぶ等の取組をしており、今後
とも家庭や学校、地域において
食育に取り組んでいきたい。

特別委員会を開く

■新タワー建設・観光対策特別
委員会

【11月6日】

都市計画押上・業平橋地区地
域冷暖房施設（案）について報
告があったほか、業平橋押上地
区開発事業の現地調査を行いま
した。



現地調査のまよう

みなさんの声

陳情の審査結果

今定例会では、陳情4件を所
管の委員会で審査し、最終日の
本会議で次のとおり決定しまし
た。

採択したもの

【区民文教委員会付託】

・透析患者等の福祉施策の拡
充に関する陳情《第2項》

・商業地等の固定資産税・都
市計画税の減額措置の継続
に関する陳情

・小規模非住宅用地の固定資
産税・都市計画税の減免措
置の継続に関する陳情

・小規模住宅用地の都市計画
税の軽減措置の継続に関す
る陳情

不採択としたもの

【福祉保健委員会付託】

・透析患者等の福祉施策の拡充
に関する陳情《第1項》

「趣旨に沿うことは困難で
ある」

決算特別委員会のもよう

平成19年度決算を認定

10月14日から10月31日まで延
べ8日間にわたり、平成19年度
墨田区一般会計、同国民健康保
険特別会計、同老人保健医療特
別会計、同介護保険特別会計の
各歳入歳出決算を審査しました。
委員会では、各歳入歳出決算
において、①予算どおりに執行
されたか、②計画的に実施され
たか、③事業効果はどうか等
について審査し、起立表決の結果、
いずれも報告どおり認定すべ
きものと決定しました。



決算特別委員会のもよう

福祉保健委員会のもよう

【12月3日】

【議案】墨田区保育所条例の一部
を改正する条例…保育園の待機
児童の解消を図るため、墨田区
江東橋保育園に分園を設置する
もの―可決すべきものと決定
した。

【議案】平成20年度墨田区介護保
険特別会計補正予算…国都等返
還金など6億240万9千円を
追加するもの―起立表決の結
果、可決すべきものと決定した。

【議案】中川児童館の指定管理者
の指定について…21年4月1日
から5年間、社会福祉法人厚生
館を指定管理者に指定するもの
―可決すべきものと決定した。

【議案】両国子育てひろばの指定
管理者の指定について…21年4
月1日から3年間、社会福祉法
人ベタニヤホームを指定管理者
に指定するもの―可決すべき
ものと決定した。

【議案】文花子育てひろばの指定
管理者の指定について…21年4



文花子育てひろば



両国子育てひろば

月1日から3年間、社会福祉法
人ベタニヤホームを指定管理者
に指定するもの―可決すべき
ものと決定した。

【議案】立花ゆうゆう館の指定管
理者の指定について…21年4月
1日から3年間、特定非営利法
人ていねん・どすこい倶楽部を
指定管理者に指定するもの―
可決すべきものと決定した。

【陳情】「透析患者等の福祉施策
の拡充に関する陳情」中第1
項…透析患者をはじめ、障害者
や高齢者に対して、「命の笛」
を支給するよう、区に対して求
めるもの―「すべての障害者
や高齢者に支給するのは費用対
効果を考えると困難と思われる
ので、希望者に配布したらどう
か」、「趣旨を尊重し、もう少し
安価な同等品をすべての災害弱
者に支給すべきだ」などの意見
が出され、起立表決の結果、趣
旨に沿うことは困難であるとの
理由により、不採択とすべきも
のと決定した。

【報告】障害者グループホーム・
ケアホーム整備支援について
―障害者グループホーム・ケ
アホーム施設について、整備費
補助等の支援を行うので、その
概要について報告があった。

【報告】「墨田区高齢者福祉総合
計画・第4期介護保険事業計画
（案）―中間のまとめ」につ
いて―墨田区高齢者福祉総合
計画・第4期介護保険事業計画
（案）の中間のまとめについて
報告があった。

【報告】認可保育園における定員
の拡大について―21年度の認
可保育園（公立、指定管理者、私
立）の定員を拡大するので、そ
の概要について報告があった。

【報告】認可保育園における定員
の拡大について―21年度の認
可保育園（公立、指定管理者、私
立）の定員を拡大するので、そ
の概要について報告があった。

【報告】認可保育園における定員
の拡大について―21年度の認
可保育園（公立、指定管理者、私
立）の定員を拡大するので、そ
の概要について報告があった。

用語の解説

＊周産期(しゅうさんき)
・周産期医療
…妊娠22週から生後満7日未満ま
での期間のこと。周産期を含め
た前後の期間は、突発的な緊急
事態に備えて産科・小児科双方
からの一貫した総合的な医療体
制が必要であることから、特に
「周産期医療」と表現される。

＊保育ママ(家庭福祉員)
…生後6週間以上3歳未満の児童
の保護者が、就労等により養育
が困難なとき、区の認定を受け
た家庭福祉員が自宅で児童を保
育する制度

墨田区議会―各会派今年の抱負―



自由民主党
幹事長
出羽 邦夫

私たちは区議会自民党の議員団は、墨田区の各地域から、町会、自治会、各業界団体の推薦、要望を受け、選出されてきた十四人の議員で構成されており、特別委員として、常任委員会、特別委員会、各種附属機関にそれぞれ所属し、区政の中で大きな発言力を持っています。各議員の政治活動の中で受けた区民要望、情報を共有し、互いに討論を交わし、一致協力をして、区政に発言、提案を行っております。

今、私たちは『構想から行動へ』を標榜し、墨田区基本計画の実践、東京スカイツリーを起爆剤に、まちづくり、商店・産業、区内企業の活性化を図ってまいります。そして、より良い墨田区を次世代に継承するため、環境宣言を本年実施させます。また、これから行政の在り方として、協治ガバナンスにむけ、区の体質改善をすすめ、区民・議会・区との協力を推進します。少子高齢化社会の当面の課題である保育園待機児、特別養護老人ホーム待機者の早期解消に努め、安心して子どもを育て、豊かな老後がとれる墨田区づくりをすすめていきます。そして、何よりも緊急課題の「景気対策」を、国、都、区の連係を図り、我が街墨田区を守っていきます。

私たち十四人は、本年も協力し「人が輝くいきいきすみだ」実現へ向け、確かな一歩の年となるよう努めてまいりますので、皆様の一層のご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。



公明党
幹事長
加納 進

皆様の日ごろのご支援に心から感謝申し上げます。昨年着工した新タワーは、本年末には二百メートルを超える高さまで工事が進み、その威容を見せることとなります。曳舟駅周辺の再開発と京成線の高架化も順調にいけば、数年後には近代化的な都市が出現します。昭和の光景が残る街・すみだもここ数年で、残すべきものは残しながら大きく変わっていくこととなります。

本年には新図書館や北斎館などの各事業も具体の段階に入り、墨田区の将来を見据えた新たなまちづくりが目に見えて進んでまいります。その一方で高齢化の進展や保育ニーズの高まりで福祉をはじめとする行政需要はますます拡大します。こうした中、昨年後半から百年に一度といわれる経済危機が暮らしを直撃しております。今こそ国、都、区が一丸となってこの危機に立ち向かわなければならぬと深く決意しております。こうした閉塞感を打破するため、生活に密着した区議会の役割は一層重要なものになると認識しております。墨田区議会公明党は、皆様の暮らしを守るため、身近なまちのパートナーとして、課題解決に向け取り組んでまいります。

「こどもからお年寄りまで笑顔で暮らしをいける街・すみだ」の実現を目指し全力でがんばってまいります。本年も皆様のさらなるご支援をよろしくお願い申し上げます。



日本共産党
幹事長
高柳 東彦

皆様には、「今年こそ明るい希望のもてる年にしたい」と願いながら新年を迎えられたのではないのでしょうか。この間の庶民大増税や社会保障の改悪に加え、景気悪化や物価高騰で区民生活はいつそう深刻です。「暮れから仕事がんばらねえぞ」といふ声や「生活保護を受けたくない」などの声があふれています。これは、労働法制の規制緩和などによる「政治災害」です。いまこそ「大企業優先・アメリカになり」の政治から、国民の暮らし優先の政治に転換を図ることが強く求められています。

日本共産党は、「中小零細企業への経営支援を」「大リストラ許さず、雇用を守れ」「社会保障の充実を」「消費税の増税やめよ」と全力をつくしています。

また、このような時に墨田区が悪政の防波堤となり、「くらしを守る」という自治体本来の役割を果たすことが重要です。

日本共産党区議団は、「緊急経済対策」や「物価高騰対策」など76項目の予算要望を行うとともに、新タワー関連など大規模開発予算を削減し、区民の暮らしに回すよう要求しています。

さらに、5人の区議全員が毎週水曜日に定例で生活相談活動を実施しています。くらしと営業を守るため、今年も全力でがんばります。皆様の大きなご支援をよろしくお願いいたします。

定例会で議決した議案

今回の定例会で可決した議案

◎区長提出議案 (27件)

- <決算 4件>
- ・平成19年度墨田区一般会計歳入歳出決算
 - ・平成19年度墨田区国民健康保険特別会計歳入歳出決算
 - ・平成19年度墨田区老人保健医療特別会計歳入歳出決算
 - ・平成19年度墨田区介護保険特別会計歳入歳出決算

- <予算 4件>
- ・平成20年度墨田区一般会計補正予算
 - ・平成20年度墨田区国民健康保険特別会計補正予算
 - ・平成20年度墨田区老人保健医療特別会計補正予算
 - ・平成20年度墨田区介護保険特別会計補正予算

- <条例 5件>
- ・墨田区国民健康保険条例の一部を改正する条例
 - ・墨田区立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例
 - ・墨田区保育所条例の一部を改正する条例
 - ・職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
 - ・幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

- <契約 2件>
- ・物品の買入れについて (2件)

- <その他 12件>
- ・墨田区家庭センターの指定管理者の指定について
 - ・みどりコミュニティセンターの指定管理者の指定について
 - ・墨田区地区会館の指定管理者の指定について
 - ・地域集会所の指定管理者の指定について
 - ・すみだスポーツ健康センターの指定管理者の指定について
 - ・すみだ健康ハウスの指定管理者の指定について
 - ・両国屋内プールの指定管理者の指定について
 - ・スポーツプラザ梅若の指定管理者の指定について
 - ・中川児童館の指定管理者の指定について
 - ・両国子育てひろばの指定管理者の指定について
 - ・文花子育てひろばの指定管理者の指定について
 - ・立花ゆうゆう館の指定管理者の指定について

◎議員提出議案 (2件)

- ・都市計画税及び固定資産税の軽減措置等の継続に関する意見書
- ・安心して出産できる周産期医療体制等の充実に関する意見書

区議会議員は、「時候のあいさつ」などが制限されています

議会構成等が一部変わりました

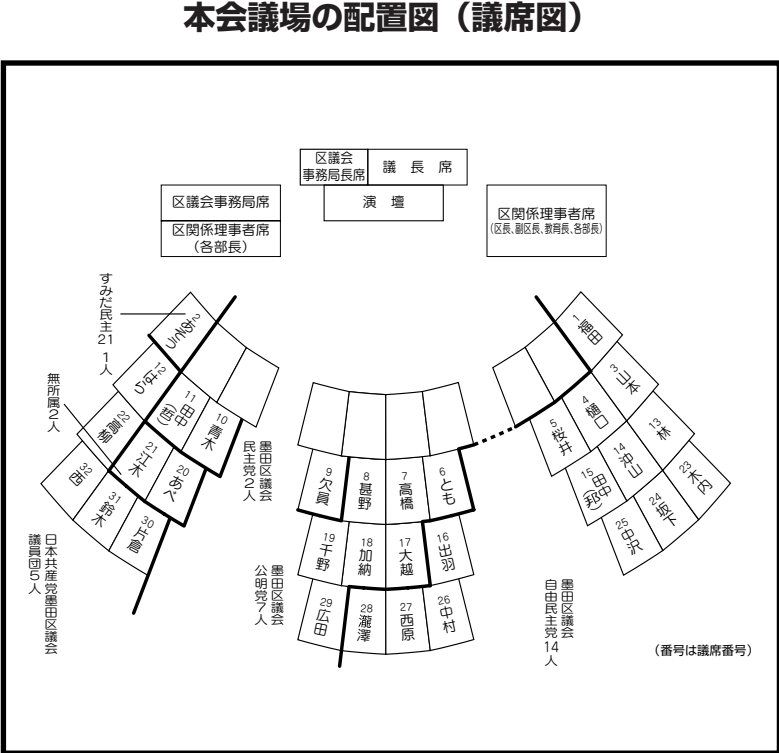
政治家が選挙区内の方に年賀状や暑中見舞状などの時候のあいさつ（電報も含む）を出すことは、「答礼のための自筆によるもの」以外は禁止されています。また政治家や後援団体が選挙区内の方にあいさつする目的で、新聞・雑誌・テレビ・ラジオなどで有料広告（いわゆる名刺広告など）を出すことやこのような広告を出すように求めることも禁止されています。

・平成20年11月11日付けで、墨田区議会民主党の幹事長が、あべきみこ議員から田中哲議員に変更となりました。また、同日付けで、あべきみこ議員の所属が無所属へと変更となりました。

・平成20年11月12日付けで、あべきみこ議員が議会運営委員会委員を辞任しました。

・平成20年11月26日付けで、議席の一部が変更となりました。

現在の本会議場の配置図（議席図）は、下図のとおりです。



編集後記 区議会事務局から

新年を迎え皆さんいかがお過ごしでしょうか。今年の干支である「丑（うし）」の字は、粘り強さと誠実さを表しているそうです。

区議会事務局議事調査担当 公5608―6352

次の定例会は2月に開かれます。

区議会や区政について、理解を深めていただくためには、傍聴は最も身近な方法です。どなたでもお気軽にお越しください。